

第6章 復興に向けて

「安全で安心のできるまちづくり」を目指し、西宮市震災復興に向けての各事業を推進するための実施計画を策定した。

■ 消防車両の整備

- ・ 小型動力ポンプ付積載車購入（7年度実施） 10台
- ・ 救援車購入（7年度実施） 4台
- ・ 高規格救急車（特殊）更新（7年度実施） 1台



小型動力ポンプ付積載車

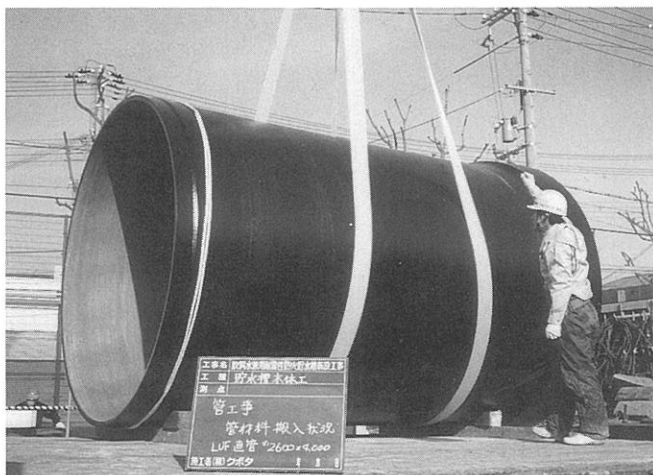


救援車

■ 100㎡防火水槽の整備

当市の防火水槽は、平成7年4月1日現在930基（公設364基、私設566基）あり、うち100㎡防火水槽15基が設置されているが、震災時断水により消火栓が使用できず、防火水槽などの有効性が実証された教訓から、防火水槽整備計画を策定し、消火栓を除く防火水槽などの消防水利が未設置20区域に毎年1基以上の耐震性100㎡防火水槽を設置する。

- ・ 耐震性100㎡防火水槽設置（7年度実施） 2基
- ・ 飲料水兼用型100㎡貯水槽（7年度実施） 1基



飲料水兼用型貯水槽の搬入状況（今津中学校）



飲料水兼用型貯水槽の標識（今津中学校）

■ 通信施設の整備

- ・全国共通波の整備
- ・消防局と医療機関とのネット・ワーク
- ・携帯無線機（災害時参集職員用）の整備
- ・消防緊急情報システムの導入（平成9年4月運用開始）

■ 自主防災組織の育成・強化

- ・新規防災会の結成
- ・防災会への防災器材の寄託

■ 救助資器材などの整備

- ・個人装備の充実
- ・高度救助資器材の導入

■ 緊急消防援助隊の発足

- ・国内で発生した大規模な災害時における全国の消防機関が相互に迅速な援助体制を確立する緊急消防援助隊が平成7年6月30日発足され、当局も消防部隊、救助部隊、救急部隊に各1隊の3隊を登録した。

■ 西宮市震災対策訓練の実施

- ・震災後1周年にあたる平成8年1月17日5時46分、神戸市消防局、尼崎市消防局、芦屋市消防本部、警察及び自衛隊並び海上保安部などの参加協力を得て、初動体制確立訓練・現地派遣訓練・情報収集訓練・初期消火訓練・救出救護訓練・サイレン吹鳴訓練・同時多発火災消火訓練を実施した。

また、市民、学校及び各事業所においても9時のサイレンによって、避難や初期消火などの自主訓練を実施した。



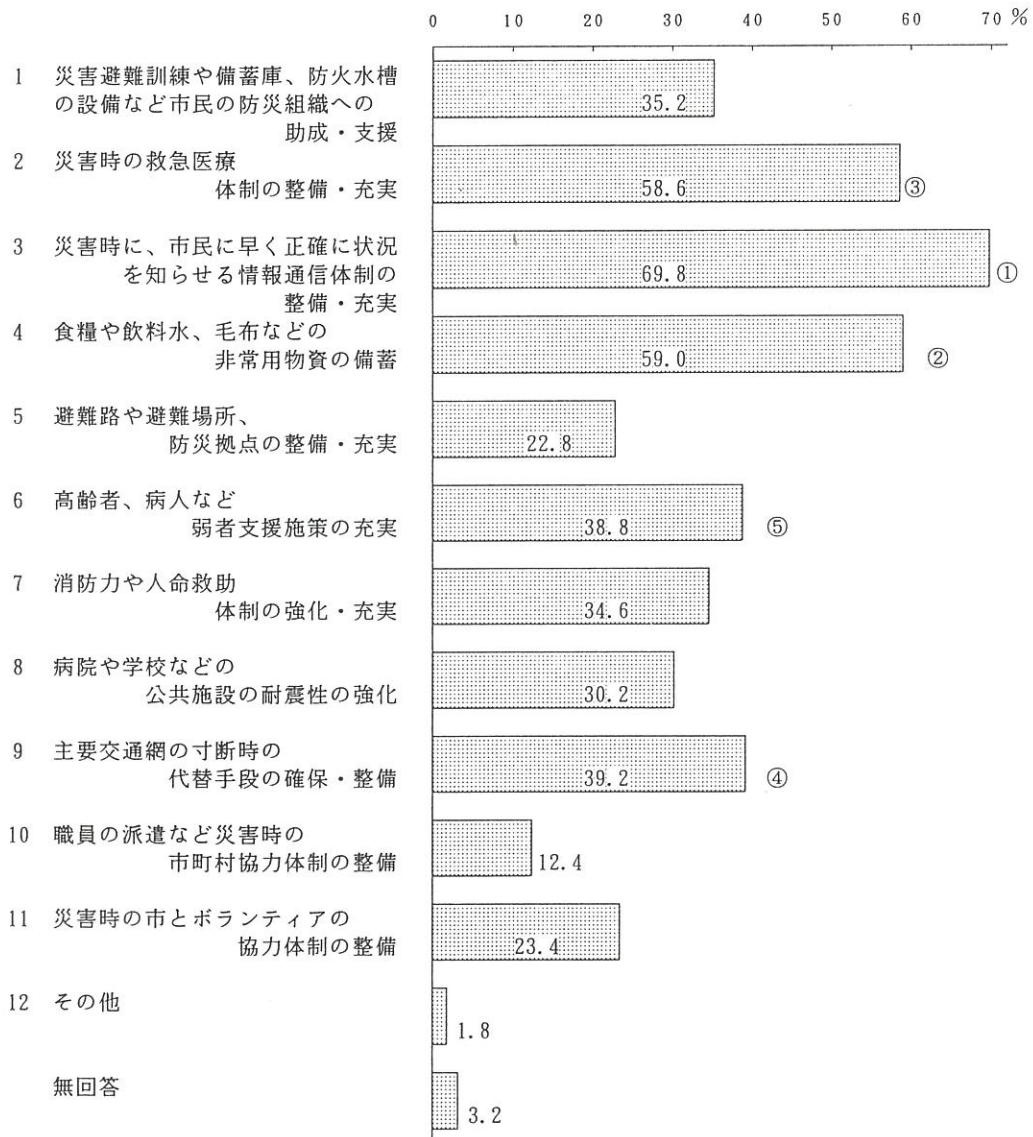
西宮市震災対策訓練状況（西宮浜四丁目）

■ 市民意識調査の実施

西宮市では、大震災への防火対策の基礎資料とするため、平成7年9月に20歳以上の市民5,000人を無作為抽出して、市民意識調査を実施した。有効回収率は70.5%で過去最高の回収率となり、市民が震災復興によせる市政の期待のほどをうかがわせた。

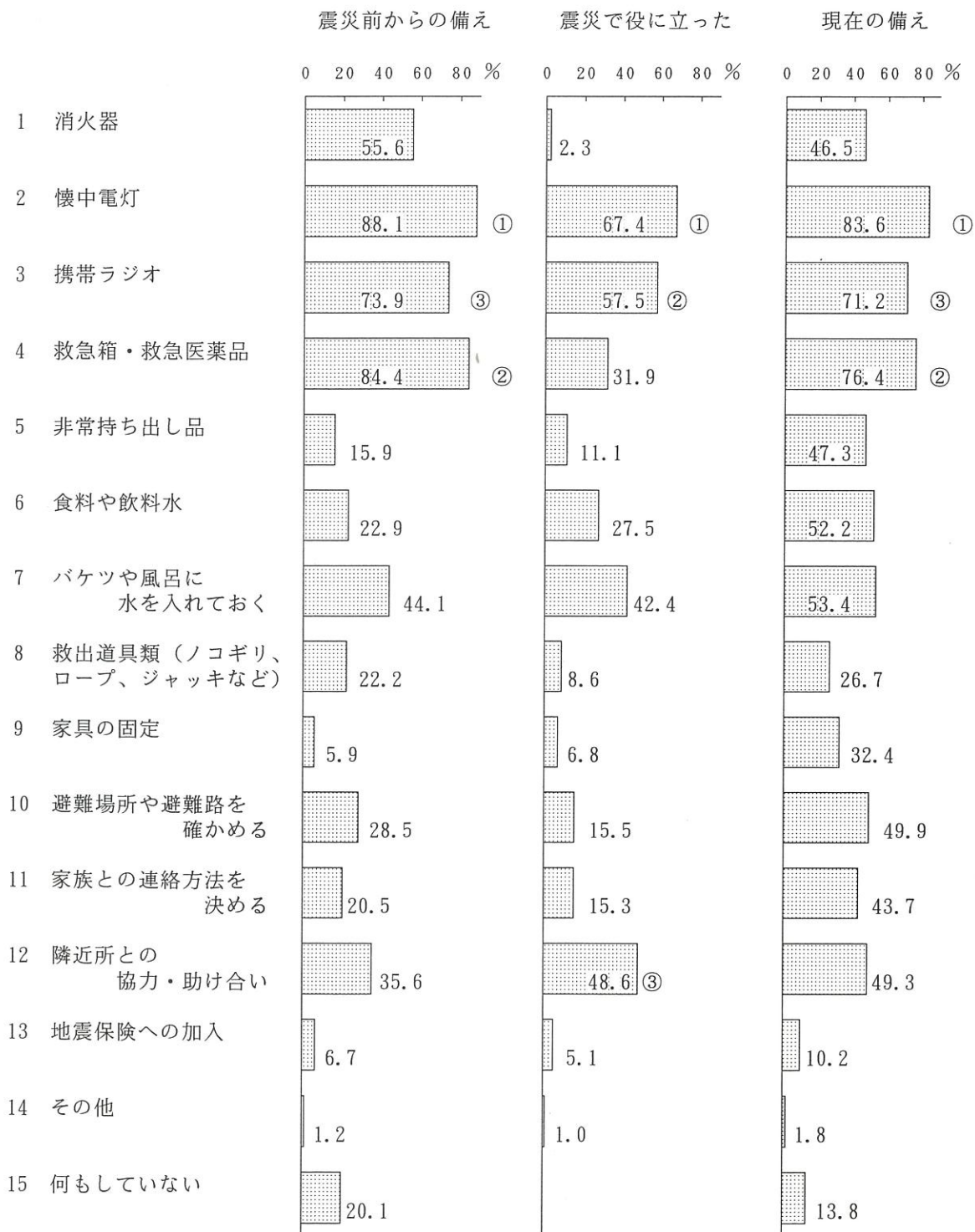
質問項目は27項目のうち消防関係の意識調査結果は次のとおりであった。

(質問) どのような防災対策を西宮市に希望されますか。特に重点をおくべきこと、5つ以内を選んで下さい。(複数回答)



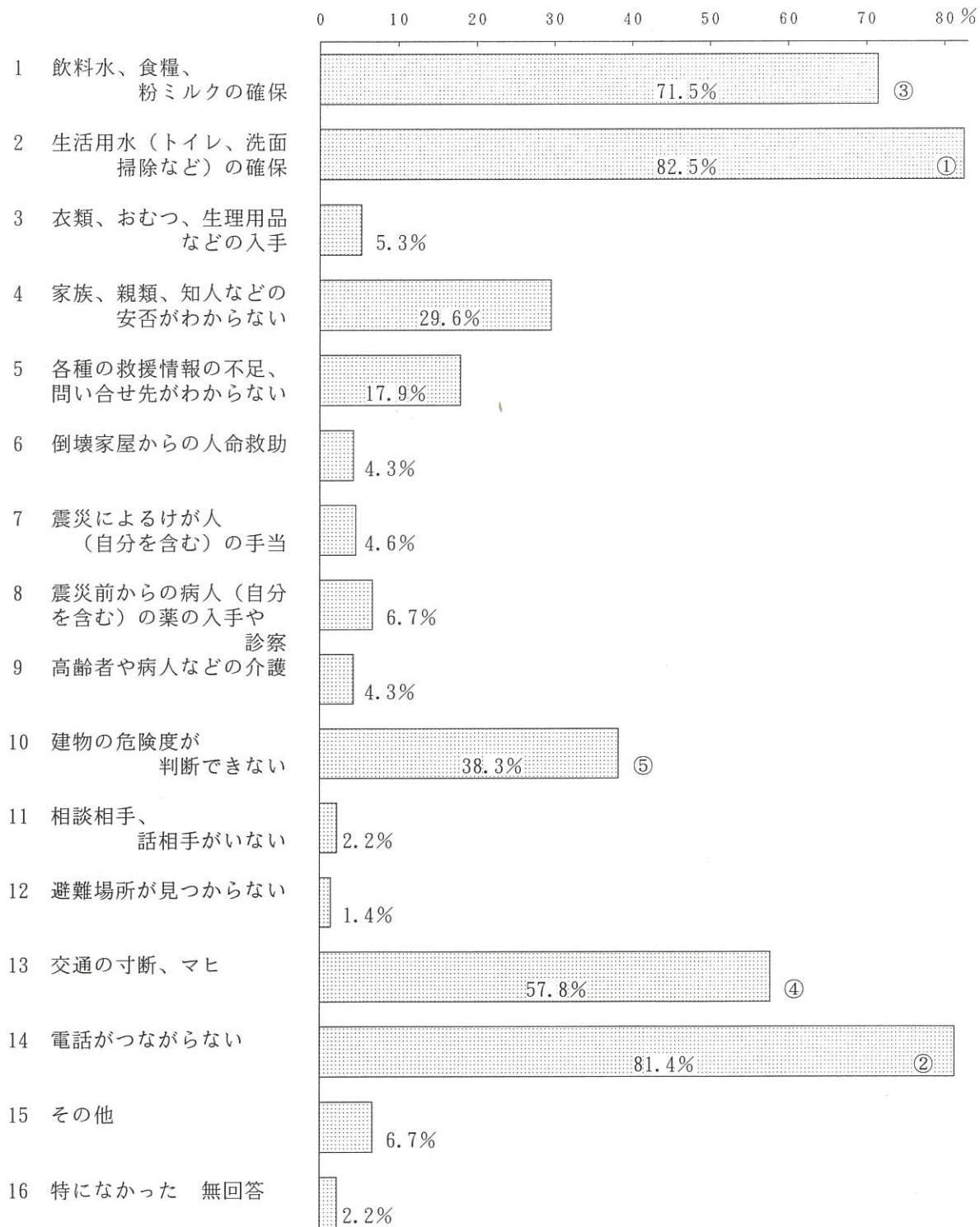
総回答数 ~ 15,107

(質問) お宅では、災害にそなえて、どんなことをしておられましたか。
それは今回の震災で役に立ちましたか。
また、現在どんなものをそなえましたか。 (複数回答)



(質問) 震災後、どんなことでお困りになりましたか。

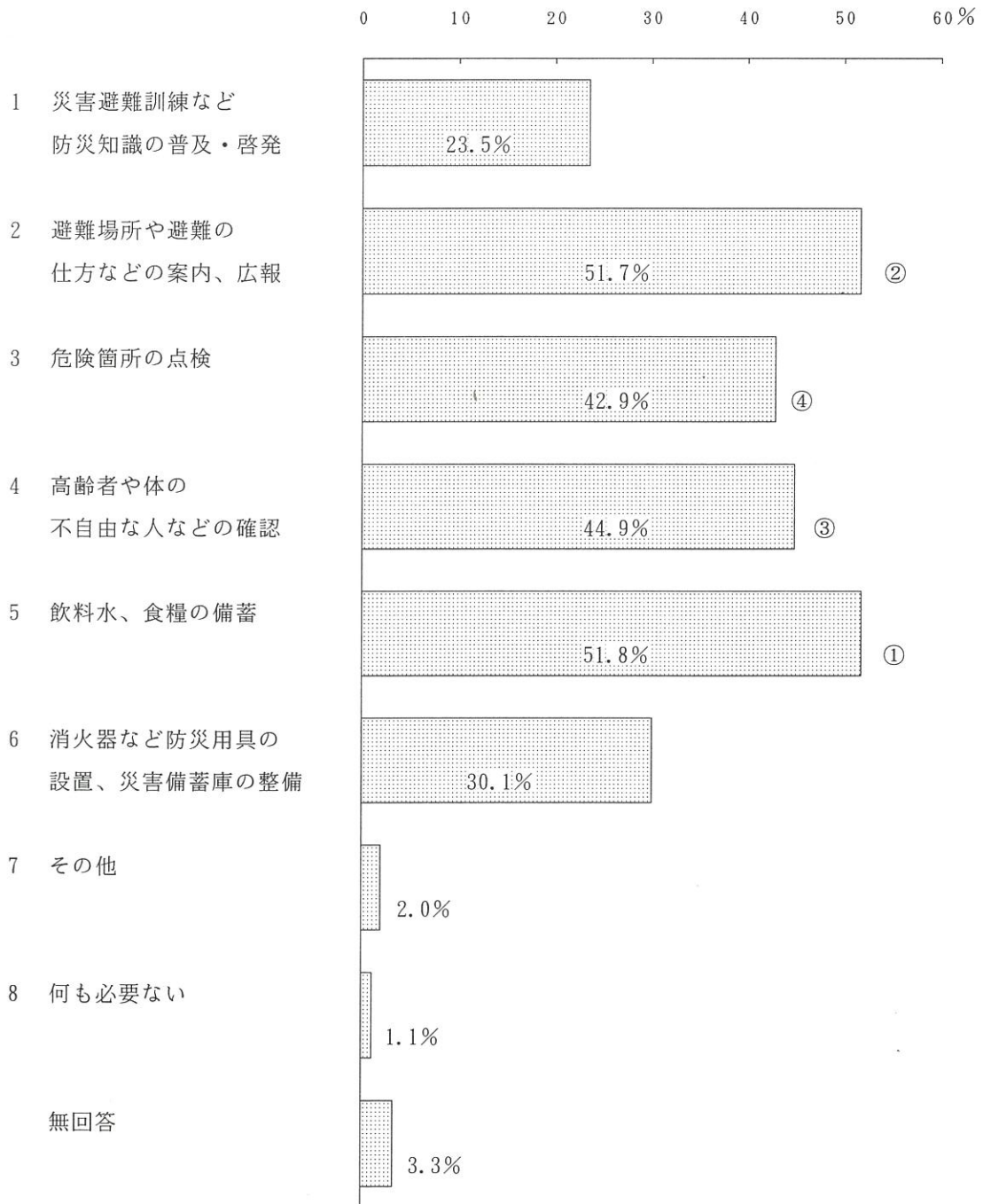
(複数回答)



総回答数 ~ 14,691

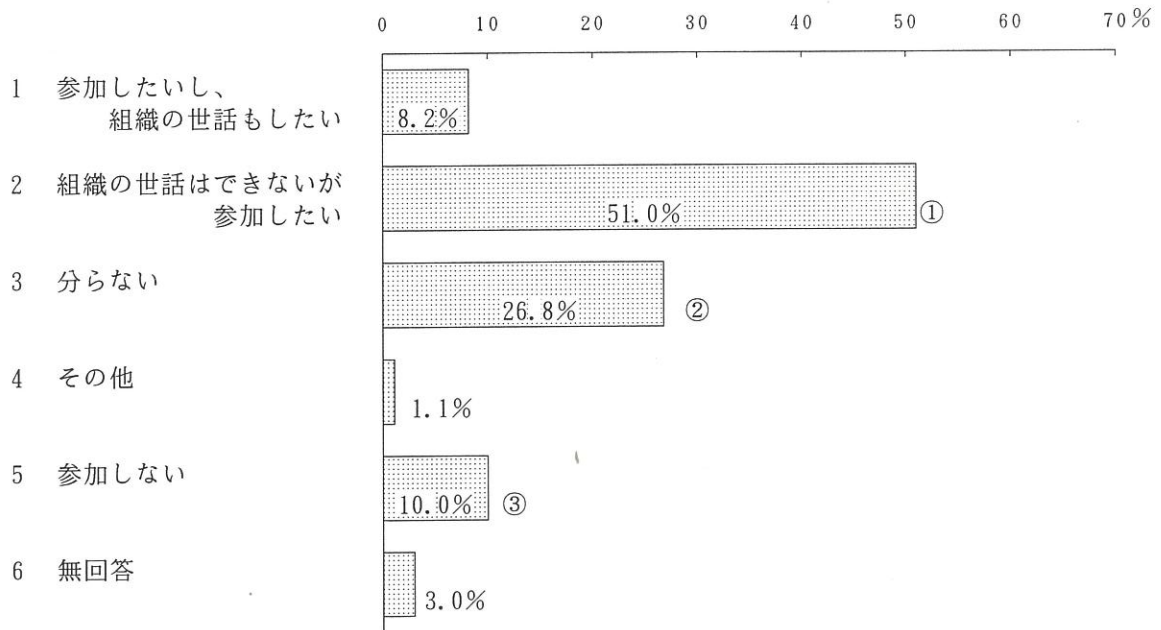
(質問) あなたが、自治会や町内会に取り組んでほしいことは何ですか。

(複数回答)



総回答数 ~ 8,854

(質問) あなたは、お住いの地区に防災知識の講習や防災訓練などを皆で行う
自主防災会ができたなら参加されますか。 (複数回答)



◎ 「参加しない」と回答した理由を2つ以内の複数回答で尋ねた。

